

お薬のしおり

口唇ヘルペスとは？ No.119 (H24.1)

東京医科大学病院 薬剤部

口唇ヘルペスは、ヘルペスウイルスが原因の感染症で、くちびるの周りに水ぶくれができる病気です。ヘルペスウイルスは8種類ありますが、口唇ヘルペスの原因となるのは単純ヘルペスウイルス 1 型です。水ぼうそうや帯状疱疹もヘルペスウイルスの一種である水痘・帯状疱疹ウイルスが原因で引き起こされます。

ヘルペスは、他のウイルス性の病気と異なり、一度感染すると症状がなくなったあともウイルスが神経節のなかにじっと潜み、免疫力が弱まったときに再発が起こります。また、水ぶくれの中にはたくさんのウイルスがいるため、人から人へ、またはウイルスが付着した物（タオルや食器など）から人へ接触感染し、感染力が強いことも特徴です。

《口唇ヘルペスの感染から再発までの流れ》

1. 初感染

多くは子供のころにヘルペスウイルスに感染し、気づかない場合もあります。大人になってから初めて感染すると、症状が重いことが多く、再発を繰り返しやすいと言われています。

2. 潜伏感染

一度感染すると、ウイルスは三叉神経節と言われているところに住みつきます。これを潜伏感染と言います。体調が悪くなると、ウイルスが暴れ出します。

3. 再発

潜伏感染しているウイルスが、再び暴れ出すことを再発といいます。かぜをひいたり、ストレスや過労がたまったり、月経前後や強い紫外線を浴びたときなどに再発しやすいです。平均すると年に1～2回の頻度で再発する患者さんが多いようです。



それでは、^{こうしん}口唇ヘルペスはどのように治療するのでしょうか？残念ながら、ヘルペスウイルスを根本から退治することはできません。しかし、活発なウイルスの^{ぞうしょく}増殖を制御し、症状の悪化を抑えることはできます。治療は抗ウイルス薬を使った薬物療法を行います。主に使われるのは飲み薬とぬり薬です。

◆飲み薬（商品名：ゾビラックス、バルトレックスなど）

病院で処方してもらいます。皮膚の症状だけでなく、^{しんけいせつ}神経節のウイルスの^{ぞうしょく}増殖を抑える効果があります。ゾビラックスはヘルペスウイルスのDNAに作用して、ウイルスが増えるのを抑えます。バルトレックスはゾビラックスの成分であるアシクロビルの吸収率を高めた薬で、体の中でアシクロビルに変換されて効果を発揮します。

◆ぬり薬（医療用医薬品の商品名：アラセナ-A 軟膏、ゾビラックス軟膏など）

再発の頻度が少なく、軽症の場合に処方されます。症状がそれ以上広がらないようにする効果があります。ぬり薬は、病院で処方してもらうほかに、薬局でも購入することができます。薬局で購入できる^{こうしん}口唇ヘルペスのぬり薬は、「再発時」に限定して使うことができます。過去に^{こうしん}口唇ヘルペスと診断され、再発のきざし（ピリピリ・チクチクを感じます。）が現れたときに使用するのがよいでしょう。^{こうしん}口唇ヘルペスのぬり薬は第1類医薬品に分類されています。第1類医薬品は、使い方や副作用などで特に注意を必要とする薬です。購入の際には、薬剤師から書面を用いた説明を受ける必要があります。

また、初めて発症したときには、症状が重症になる場合があります。症状だけで^{こうしん}口唇ヘルペスかどうかを自己判断することはできません。市販薬は使用せず、必ず病院を受診しましょう。

^{こうしん}口唇ヘルペスの再発を防ぐためには、抵抗力のある丈夫な体をつくるのが大切です。免疫力が低下しないよう、栄養のバランスがよい食事をとることを心がけ、適度な運動をして基礎体力を高めておきましょう。

